

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
証券コード	8892
定時株主総会開催時期	6月下旬
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 なお、中間配当を行う場合、中間配当受領株主確定日は9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
単元株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。
郵便物送付先(電話照会先)	口座をお持ちの証券会社へお申出下さい。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
住所変更等のお申出先について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
未払配当金の支払いについて	電子公告( <a href="https://www.es-conjapan.co.jp/">https://www.es-conjapan.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告方法	

### 株主優待制度に関して

#### 対象となる株主様

2024年より毎年9月30日を基準日とし、  
10単元(1,000株)以上を1年以上  
継続保有されている株主様



#### 株主優待の内容

以下の区分により、クオカードを年1回贈呈いたします。

	継続保有期間	
	1年以上2年未満	2年以上
保有株式数		
1,000株以上 5,000株未満	クオカード1,000円分	クオカード3,000円分
5,000株以上 10,000株未満	クオカード2,000円分	クオカード5,000円分
10,000株以上	クオカード3,000円分	クオカード10,000円分

なお、この度の株主優待につきましては、優待品購入額の3%にあたる額について当社が寄付を実施する予定です。  
株主様がQUOカードを1年以内にご利用いただくことで寄付に繋がる「株主参加型」の社会貢献型株主優待制度です。

### ES CON 公式アカウント



Instagram



YouTube



### 中部電力グループ



会社案内



IRメール配信  
サービス

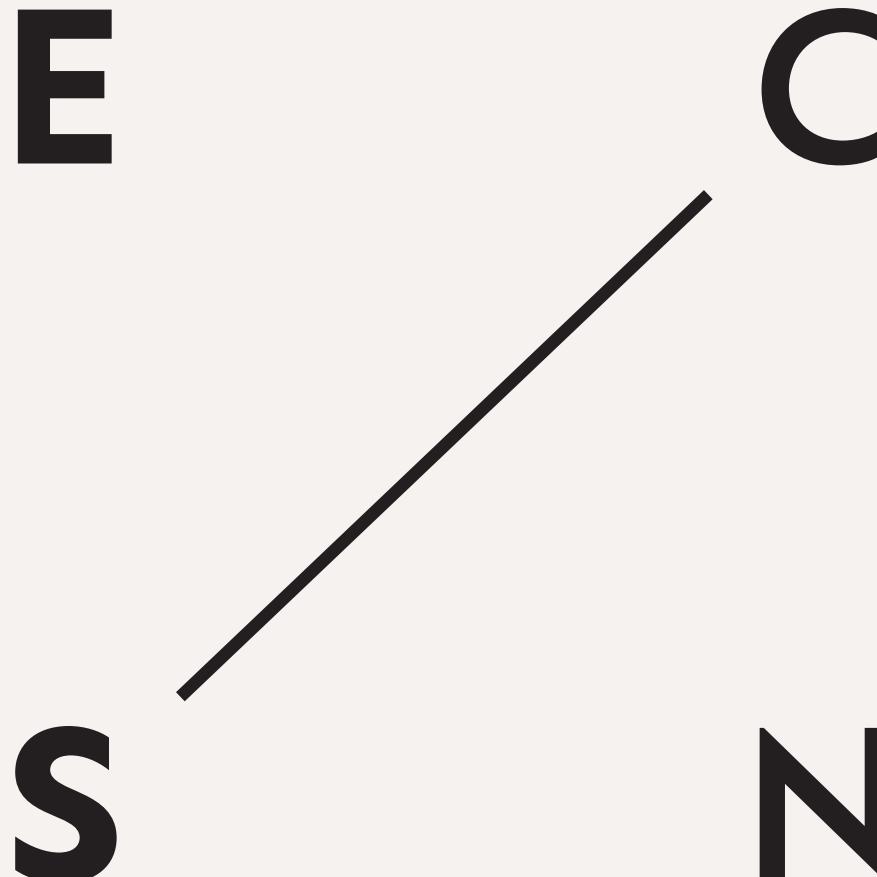
お問い合わせ専用番号: 03(6230)9308 受付時間: 土日祝日を除く平日9:00~18:00

- 東京本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目10番4号 オークラプレステージタワー20F  
Tel. 03(6230)9303 Fax. 03(6230)9304
- 大阪本社 〒541-0044 大阪市中央区伏見町四丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル13F  
Tel. 06(6223)8050 Fax. 06(6223)8051
- 名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目4番1号 広小路栄ビルディング5F  
Tel. 052(218)4820 Fax. 052(218)4821
- 九州支店 〒812-0026 福岡市博多区上川端町13番15号 安田第7ビル9F  
Tel. 092(283)1531 Fax. 092(283)1532
- 北海道支店 〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西四丁目1番1号 日本生命札幌ビル13F  
Tel. 011(211)1928 Fax. 011(211)1936
- 沖縄支店 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地一丁目12番12号 ニッセイ那覇センタービル11F  
Tel. 098(975)9455 Fax. 098(975)9456



# ES CON JAPAN REPORT

第30期 株主通信  
2025年3月期 証券コード: 8892





# MESSAGE

2025年6月  
代表取締役社長  
伊藤貴俊

## 株主・投資家の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。当社は2025年に創業30周年を迎えました。近年においては、多面的な不動産事業を全国規模で展開していることや海外事業への着手、「エスコフィールドHOKKAIDO」の周辺開発といった大規模なプロジェクトを推進するとともに、同施設のネーミングライツを取得したことによって「エスコ」 という名称が全国に広く認知されてきていることから、2025年7月1日付で、社名を「株式会社日本エスコ」から「株式会社エスコ」に変更いたします。ロゴにつきましても刷新し、当社はより一層の企業価値向上に努め、新たなステージへと進んでまいります。

## 業績概要

2025年3月期の業績につきましては、15ヵ月決算であった前期と同水準の売上利益を維持し、各段階利益は期初計画を上回る着地となりました。各セグメントにおいては、その他事業を除き、15ヵ月決算の前期に対して実質増収増益の結果となりました。さらに、主力事業

である住宅分譲事業では、高い商品企画力を発揮し、前期と同水準の売上利益の達成に大きく貢献いたしました。また、不動産開発事業では多様なアセットの売却が寄与し、前期を上回る売上利益を達成しております。不動産賃貸事業においても、前期を実質上回る売上利益を達成するなど収益構造のさらなる安定の確保によって、より良好なポートフォリオを目指し、持続的な成長を実現してまいります。

## 第5次中期経営計画の進捗

2025年3月期から2027年3月期を計画期間とする第5次中期経営計画の初年度である2025年3月期は順調に進捗し、当初計画を上回る営業利益を達成しました。引き続き安定的な成長が見込めることに加え、投資計画の進捗による不動産開発事業の物件売却見込みの積み上がりなどにより、2026年3月期および2027年3月期の連結営業利益計画を上方修正しております。今後も、資本コストや株価を意識した経営を推進し、株主価値および企業価値向上に、引き続き取り組んでまいります。

創業30周年を迎えた「株式会社日本エスコ」は  
2025年7月1日に「株式会社エスコ」へと名前を変え、  
新たなステージへと歩みを進めます。

### 社名の由来

現商号である「エスコ」は、創業時に掲げた理念「エステート(不動産)」と「コンステレーション(星座)」を組み合わせたものであり、『当社と結ばれた全ての人々が、それぞれの個性と力を発揮し、全体として美しく調和することで、他に類を見ない輝きを放つ星座のように、未来永劫にわたり輝き続ける。そんな“不動産業界の星座”でありたい』という強い想いを込めております。

### 商号変更について

近年では、国内外問わず、多面的な不動産事業の展開を進めております。また、「エスコフィールドHOKKAIDO」の周辺開発という大規模なプロジェクトを推進するとともに、同施設のネーミングライツを取得したことにより、「エスコ」という名称が全国的に広く認知されています。こういった背景から、当社の企業ブランドをより一層強化し、社会からの信頼を高めるべく、この象徴的な名称である「エスコ」を新たな社名といたしました。



### ロゴ・シンボルの構造

力強い「ES」の信頼性と、緻密で広がりのある「CON」の多様性が融合することで、企業が信頼と挑戦を両立しながら、新たな価値創造を続ける姿を象徴しています。

logo

ES CON  
Ideal to Real

「estate(不動産)」を意味する「es」は、堅実さと信頼性を文字の太さで効果的に表現。「constellation(星座)」を意味する「con」は、未来への広がりや新たな可能性を表現。パーパスをロゴの真下に配置し、理想を現実にするために挑戦を続けている姿勢を一目でわかるように表現。

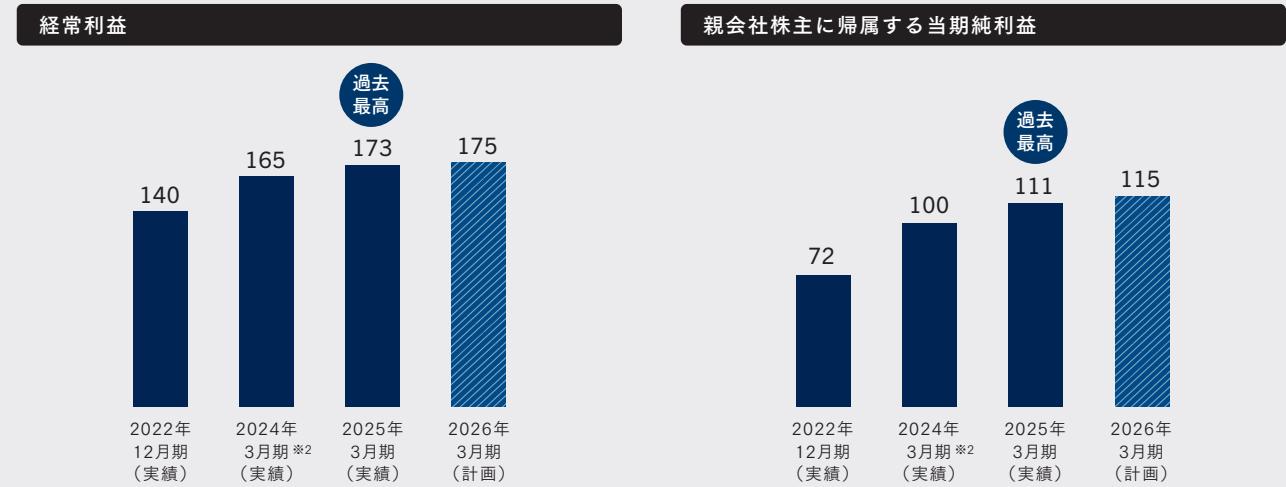
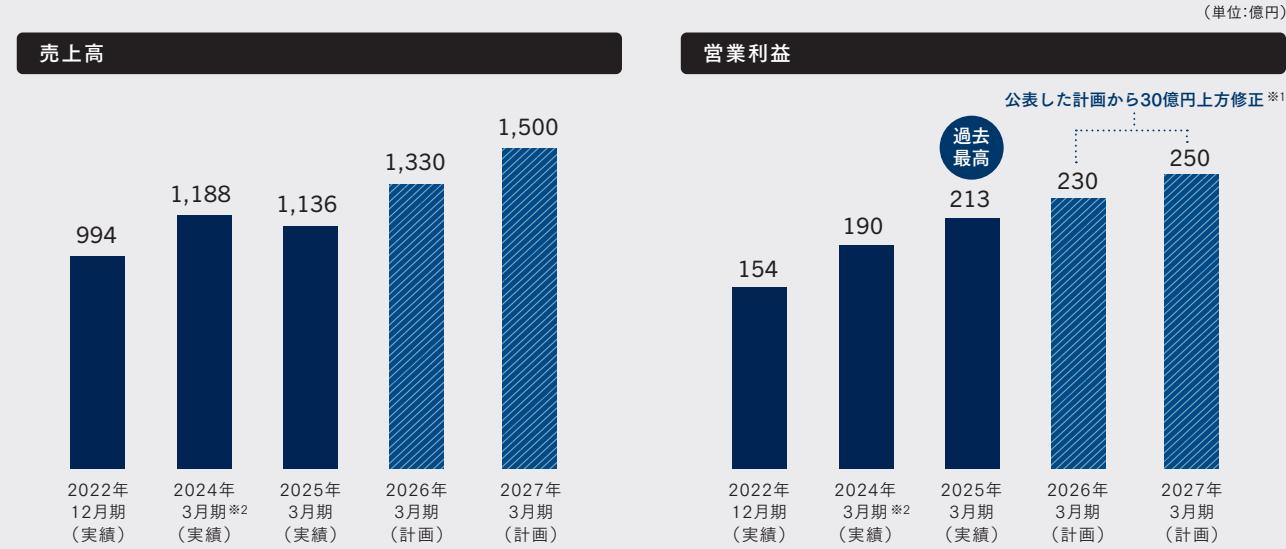
symbol mark

E S / C N

星座のようにアルファベットが四方に広がりを見せるマークは、既存の枠組みや前例にとらわれず、幅広い領域で革新的な挑戦を続ける姿勢を象徴。斜めに走るラインは星座の連なりを思わせると同時に、これまでの軌跡や未来への道筋を表し、視線を自然に導く役割に。

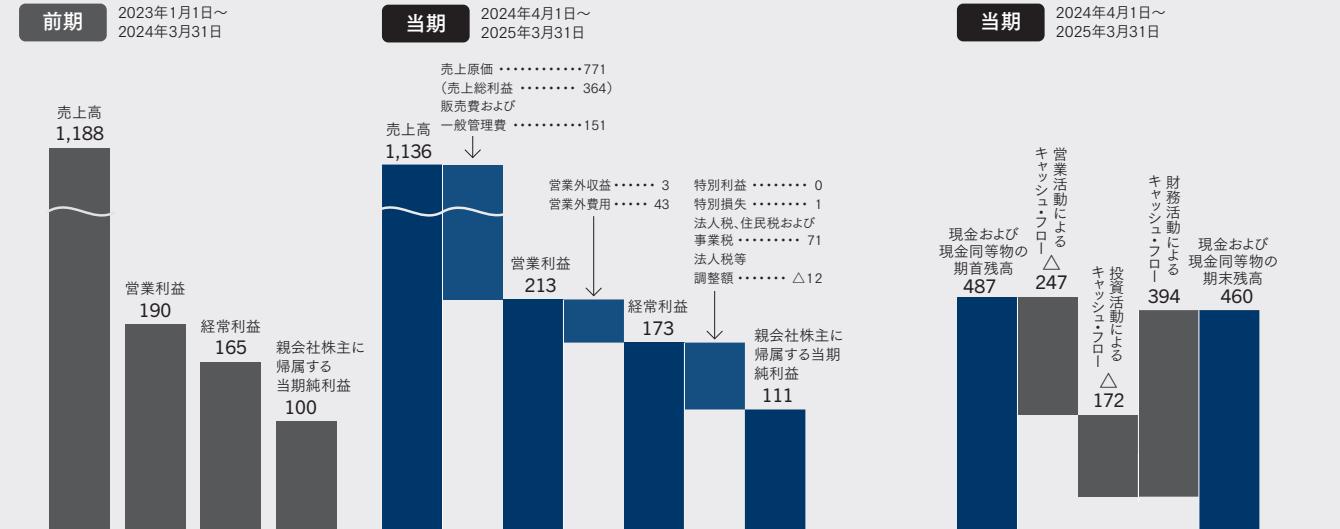
## 業績ハイライト

- ▶ 各段階利益は期初計画を上回る着地(過去最高益を更新)
- ▶ 15ヵ月決算の前期比で実質増収増益を達成



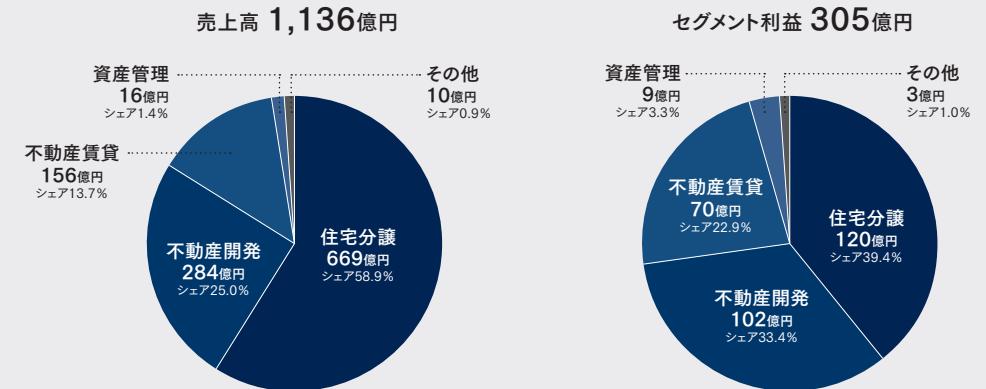
※1 2024年3月26日公表の「第5次中期経営計画」  
 ※2 決算期(事業年度の末日)の変更に伴い、2024年3月期は2023年1月1日～2024年3月31日までの15ヵ月間の変則決算となります。

## 連結損益計算書の概要 (単位:億円)



## セグメント概況

- ▶ 主力事業である住宅分譲事業の分譲マンション販売および不動産開発事業の物件売却が堅調に進捗。
- ▶ 不動産賃貸事業は、2023年7月に子会社化した四条大宮ビルが通年で収益に貢献したことで、前期(15ヵ月)を実質上回る売上利益を達成。



# CONDOMINIUM



レ・ジェイド新大村 パークサイド/ステーションフロント



レ・ジェイドシティ千里藤白台

# DEVELOPMENT



tonarie星田



LOGITRES習志野

## 住宅分譲事業

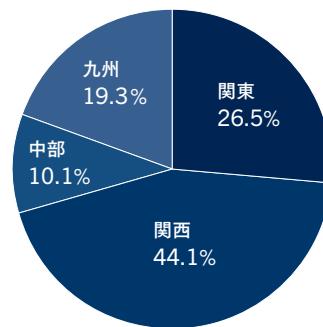
住宅分譲事業は、「レ・ジェイド新大村 パークサイド/ステーションフロント」や「レ・ジェイドシティ千里藤白台イースト/サウスレジデンス」など高い商品企画力を発揮した分譲マンションおよび戸建販売を行った結果、売上高66,908百万円、セグメント利益12,045百万円となりました。

【2025年3月期 実績】 売上高 **66,908**百万円 セグメント利益 **12,045**百万円

■比較表 (単位：百万円)

	2025年3月期 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)	2024年3月期 (2023年1月1日～ 2024年3月31日)
売上高	66,908	73,183
分譲マンション	64,063	69,290
戸建(エスコンホーム)	2,845	3,892
セグメント利益	12,045	13,376
分譲マンション	11,746	12,884
戸建(エスコンホーム)	299	491
セグメント利益率	18.0%	18.3%

■エリア別売上高シェア



## 不動産開発事業

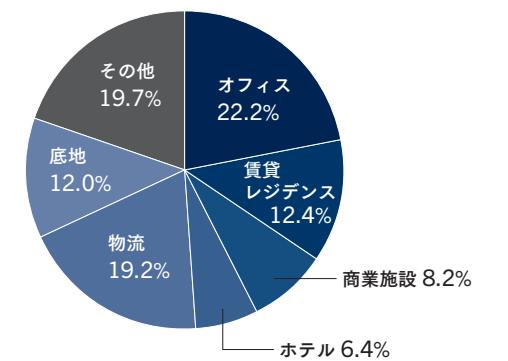
不動産開発事業は、商業施設「tonarie星田」や福岡県糸島半島において開発したホテル「seven x seven糸島」、2023年度グッドデザイン賞を受賞したオフィスビル「ESCON九段北ビル」、物流施設「LOGITRES佐野」「LOGITRES習志野芝園」、兵庫県明石市の開発事業用地などの売却を行った結果、売上高28,427百万円、セグメント利益10,212百万円となりました。

【2025年3月期 実績】 売上高 **28,427**百万円 セグメント利益 **10,212**百万円

■比較表 (単位：百万円)

	2025年3月期 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)	2024年3月期 (2023年1月1日～ 2024年3月31日)
売上高	28,427	26,423
セグメント利益	10,212	7,283
セグメント利益率	35.9%	27.6%

■アセット別売上高シェア





# LEASING ASSET MANAGEMENT Other Business

## 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業においては、2023年7月に子会社化した四条大宮ビルが通年で収益に貢献したことにより、売上高15,600百万円、セグメント利益7,021百万円となりました。

【2025年3月期 実績】 売上高 **15,600**百万円 セグメント利益 **7,021**百万円

## 資産管理事業

不動産管理事業においては、グループ会社におけるアセットマネジメント事業、プロパティマネジメント事業や、マンション管理事業などを行った結果、売上高1,645百万円、セグメント利益997百万円となりました。

【2025年3月期 実績】 売上高 **1,645**百万円 セグメント利益 **997**百万円

## その他事業

その他事業においては、納骨堂了聞の永代使用権の販売、海外における出資事業を行った結果、売上高1,020百万円、セグメント利益319百万円となりました。

【2025年3月期 実績】 売上高 **1,020**百万円 セグメント利益 **319**百万円

## ■比較表

(単位：百万円)

	2025年3月期 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)	2024年3月期 (2023年1月1日～ 2024年3月31日)
不動産賃貸事業	売上高	15,600
	セグメント利益	7,021
	セグメント利益率	45.0%
資産管理事業	売上高	1,645
	セグメント利益	997
	セグメント利益率	60.6%
その他事業	売上高	1,020
	セグメント利益	319
	セグメント利益率	31.3%

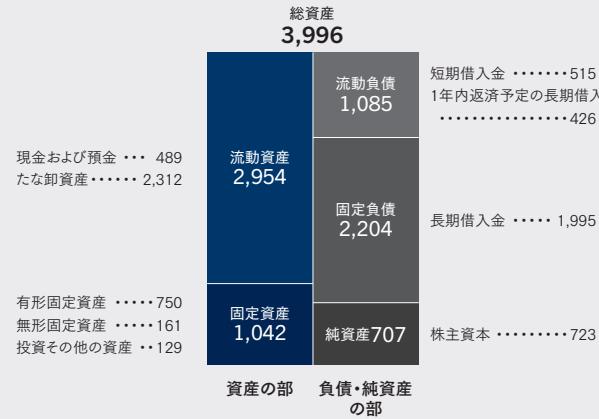
## ■主な保有資産

	所在地	保有状況
tonarie南千里アネックス	大阪府吹田市	固定資産
Oh!Me大津テラス	滋賀県大津市	固定資産
tonarie宇都宮	栃木県宇都宮市	固定資産
tonarie四日市	三重県四日市市	固定資産
tonarie CREO	茨城県つくば市	流動資産
tonarie Q'tonarie MOG	茨城県つくば市	流動資産
tonarieふじみ野	埼玉県ふじみ野市	流動資産
愛西プラザ	愛知県愛西市	流動資産
博多区中洲(ホテル)	福岡市博多区	流動資産
中央区西心斎橋(ホテル)	大阪市中央区	流動資産
ピカソグループ関連	—	固定資産および流動資産
四条大宮ビル関連	—	固定資産および流動資産

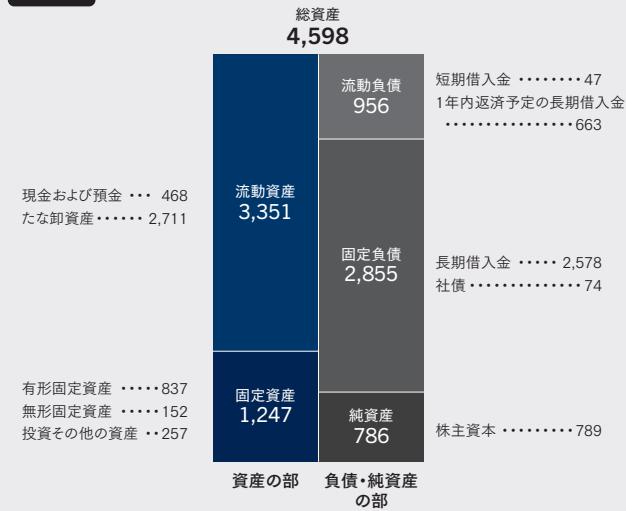
# 連結財務データ

## 連結貸借対照表の概要 (単位:億円)

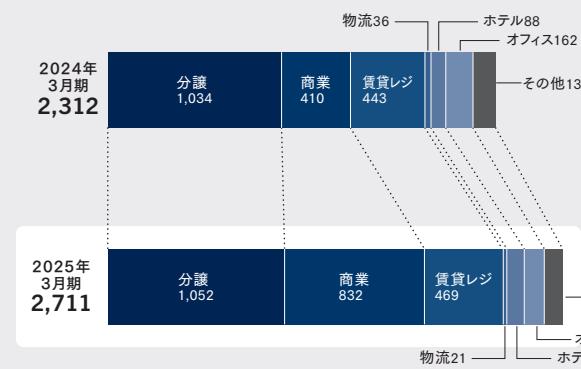
前期末 2024年3月31日現在



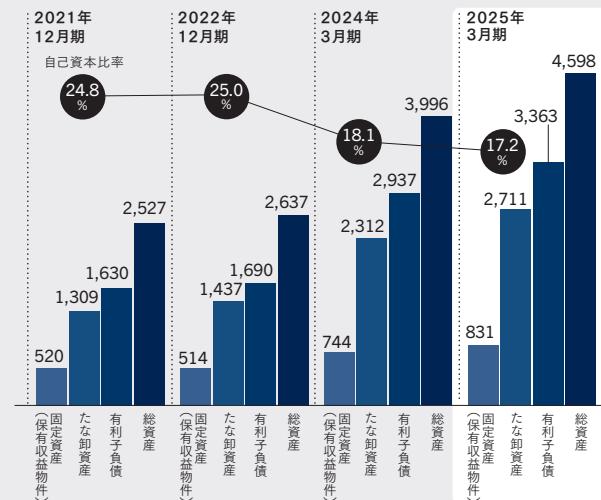
当期末 2025年3月31日現在



## たな卸資産内訳・推移 (単位:億円)



## 資産・負債および自己資本比率推移 (単位:億円)

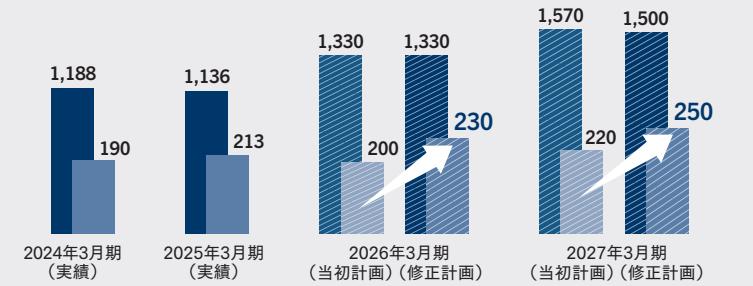


# 長期ビジョン2030 / 第5次中期経営計画 進捗状況

## 業績計画

2025年3月期は、分譲マンションの販売・不動産開発事業の物件売却が順調に推移し、当初計画を上回る営業利益で着地。2026年3月期および2027年3月期の連結営業利益計画を上方修正いたしました。

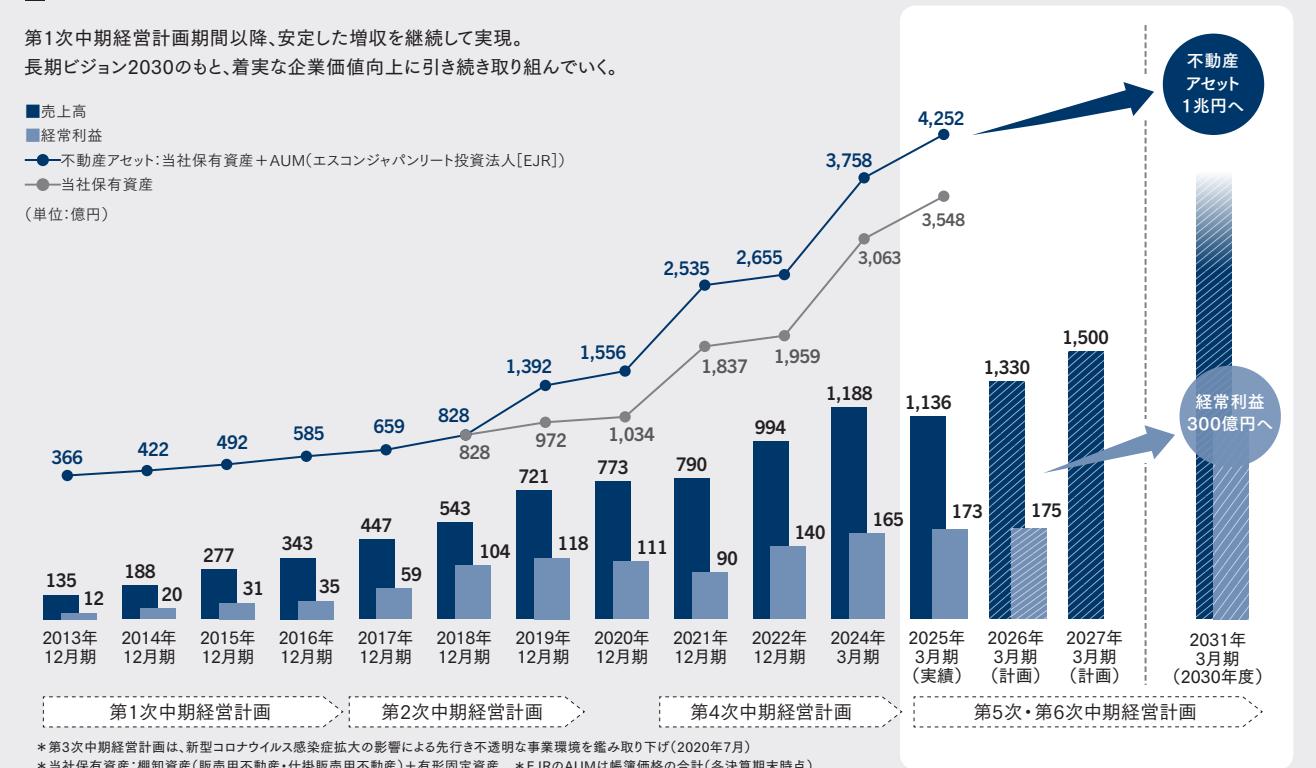
■売上高  
■営業利益  
(単位:億円)



## 業績推移

第1次中期経営計画期間以降、安定した増収を継続して実現。長期ビジョン2030のもと、着実な企業価値向上に引き続き取り組んでいく。

■売上高  
■経常利益  
●不動産アセット: 当社保有資産 + AUM(エスコンジャパンリート投資法人[EJR])  
●当社保有資産  
(単位:億円)



## 投資計画

2025年3月期の投資計画が順調に進捗 → 2026年3月期および2027年3月期の投資計画を一部変更

① 2025年3月期のグロス投資額の計画値610億円に対し、720億円(契約ベース)の実績

② 収益物件開発: 愛知県刈谷市、豊田市において、まちづくり事業を行う大規模開発用地を取得

(単位: 億円)

	第5次中期経営計画							
	2025年3月期			2026年3月期		2027年3月期		3年累計
	実績	計画	増減	修正計画	当初計画	修正計画	当初計画	
グロス投資額 計	① 720	610	110	660	← 770	1,120	1,120	2,500
分譲マンション開発	161	200	-39	200	200	250	250	611
収益物件開発	② 427	200	227	200	← 300	500	500	1,127
稼働中収益物件取得	78	150	-72	200	200	300	300	578
海外投資	54	50	4	60	60	60	60	174
その他	0	10	-10	0	10	10	10	10
回収額	220	284	-64	325	← 308	400	← 417	945
内、収益物件	84	121	-37	144	142	277	← 242	505
ネット投資額	500	326	174	335	← 462	720	← 703	1,555

## 経営指標

	2025年3月期			2026年3月期	2027年3月期
	実績	計画	増減	計画	計画
安定性					
ストック収益割合 ※1 ※2	26.2%	30.4%	-4.2%	28.2%	30.0%
ストック収益/一般管理費 カバー率 (キャッシュベース) ※3	115.2%	119.0%	-3.8%	114.2%	116.8%
自己資本比率	17.2%	17.5%	-0.3%	17.6%	17.5%
資本効率性					
ROE	14.8%	13.4%	1.4%	13.9%	14.0%
ROIC ※4	3.5%	3.4%	0.1%	3.5%	3.6%

※1 ストック収益: 不動産賃貸セグメント利益 + 資産管理セグメント利益

※2 ストック収益割合: ストック収益 / セグメント利益合計

※3 ストック収益/一般管理費カバー率: (ストック収益 + 不動産賃貸セグメントの減価償却費 + 不動産賃貸セグメントののれん償却額) / (一般管理費 - 一般管理費の減価償却費 - 全体ののれん償却額)

※4 ROIC: (連結経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等) / ([有利子負債 + 純資産]の期首期末平均)

# Topics 1 事業トピックス

## 主要事業のさらなる成長

### 北海道での取り組み

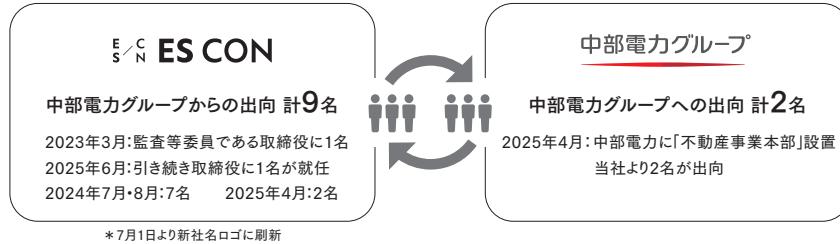
「エスコンフィールドHOKKAIDO」の最寄り駅であるJR北広島駅において、「tonarie北広島」および「エスコンフィールドHOKKAIDOホテル 北広島駅前」が2025年3月に開業いたしました。さらに、当該施設と歩行者デッキで繋がる分譲マンション「レ・ジェイド北海道北広島」(2026年11月引渡予定)の開発が進行中です。



## 中部電力グループとのシナジー効果発揮

### 中部電力との人事交流

2024年に7人の出向受入、さらに2025年4月に出向者2名を新たに受け入れました。また、中部電力は同年4月1日より、グループ一体となって不動産事業のさらなる拡大を加速させるため、不動産事業本部を設置。当社から2名が当該本部に出向しています。



### 中部圏で推進中のプロジェクト

中部電力の信用力を活かし、愛知県刈谷市及び愛知県豊田市において大規模開発用地を取得。どちらも交通利便性に優れた立地。

2022年より事業参画している名古屋競馬場跡地開発に加えて、地域の皆様に愛されるまちづくりを推進してまいります。



名古屋競馬場跡地開発(中部電力とのJV)

愛知県豊田市プロジェクト ©2025 Google

愛知県刈谷市プロジェクト

\*掲載の画像は、図面に基に描き起こしたもので、建物の形状、仕様、色調、外構、植栽などは一部変更が生ずる場合があります。

## 収益構造のさらなる安定

### 株式会社芝リアルエステートの子会社化

2025年4月1日に三菱ケミカル株式会社の新設会社である「株式会社芝リアルエステート」の全株式を取得。芝リアルエステートが保有する不動産は、賃貸マンションやオフィスビルなど将来の優良な資産が数多く含まれており、今回の子会社化は、賃貸収益不動産および不動産売買のための資産の確保を目的としています。

(単位: 百万円)

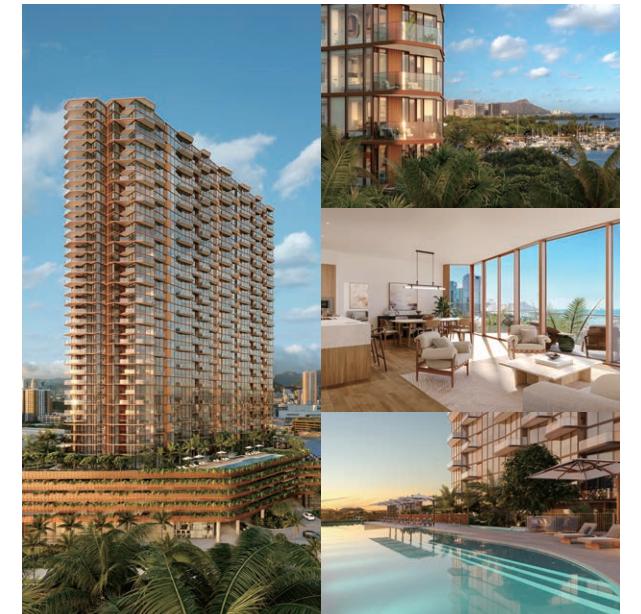
不動産資産状況(2025年3月時点)	棚卸資産	固定資産	資産合計
ピカソグループ	16,732	36,252	52,984
四条大宮ビル	16,435	25,129	41,564
芝リアルエステート(株式取得時)	11,785	8,626	20,411
<b>合計</b>	<b>44,952</b>	<b>70,007</b>	<b>114,959</b>

### グローバル展開

2024年7月より事業参画しているハワイ州ホノルルの大規模コンドミニアム「Kuilei Place」のプロジェクトへ、2025年1月にハワイにおける事業をさらに拡大していくため、出資を行っています。また、ハワイでのラグジュアリーコンドミニアムプロジェクト「Ālia」においても、日本国内向けの販売業務を推進中。



Kuilei Place



Ālia

## 開発事業・ジャンルの多様化

### 道内初となる物流施設の開発



北海道千歳市において当社にとって道内初となる物流施設を開発中(売却契約済)。敷地面積は2万6,000㎡超であり、交通アクセスにも優れている。2026年1月竣工予定。引き続き、地域雇用の促進による地域活性化の一翼を担う。

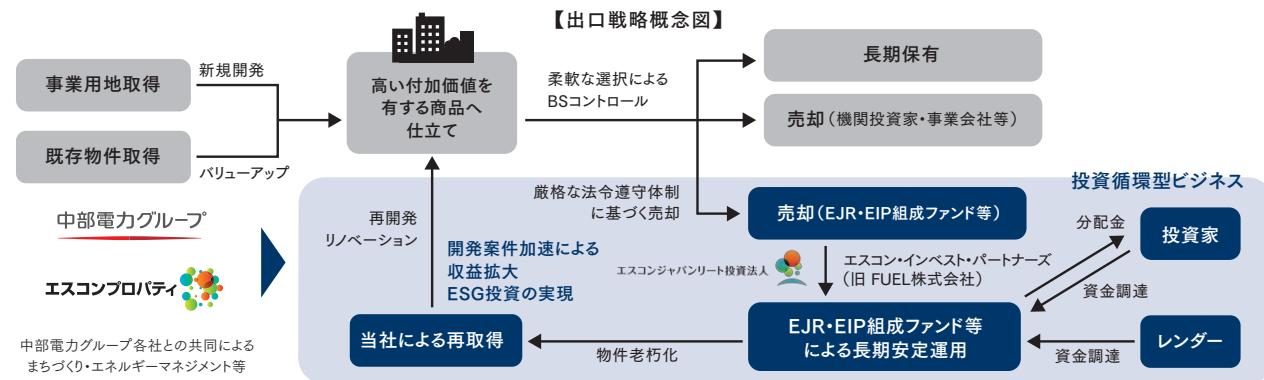
### 多様な宿泊施設の開発



ダンスクラブ跡地にその歴史を感じられるよう、随所に意匠を残し開発された「ランドーホテル札幌ヘリテージ」(写真左)や、交通利便性に優れた立地にレストラン、大浴場・サウナを備えることで幅広い需要に対応するホテル開発(写真右/2027年2月開業予定)など、多様な開発を促進。

## 投資循環型ビジネスの拡大

エスコンジャパンリート投資法人(EJR)から2024年6月に3物件取得し、当社保有底地を2025年4月にEJRに1物件売却しました。EJRの資産運用会社であり当社の子会社である株式会社エスコンアセットマネジメントは、2022年に「不動産鑑定会社への不適切な働きかけ」を理由に金融庁から行政処分を受けましたが、その後、法令遵守態勢および内部管理態勢の強化を徹底することで、改善に努め、今般取引を行っております。



中部電力グループ各社との共同によるまちづくり・エネルギーマネジメント等

## 資本コストや株価を意識した経営

### 基本的な考え方・取り組み内容

#### 利益成長の実現

ステークホルダーの期待に応える利益成長の実現

#### 資本効率の意識

具体的指標として、ROE>株主資本コスト、ROIC>WACCを意識した経営の推進

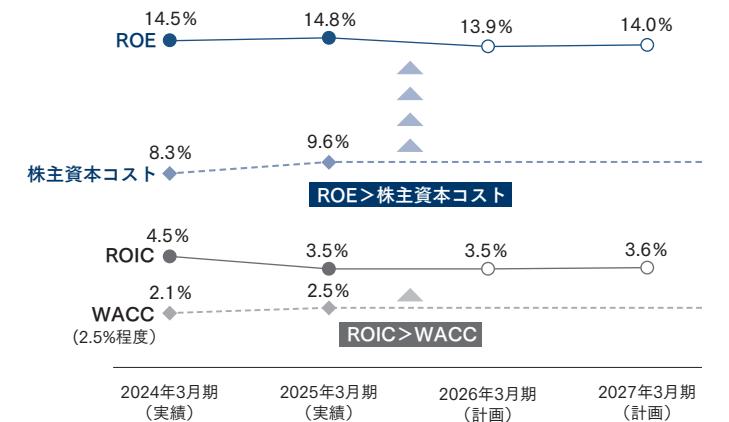
#### 積極的な株主還元

第5次中期経営計画においても累進的配当政策を継続し、積極的な株主還元を実施

#### 株主様・機関投資家様との建設的な対話

代表取締役・IR室(2025年4月新設)でIR活動を管轄・実践  
財務情報・非財務情報の英文開示実施等

### 重視する指標



## 配当政策

### 累進的配当政策継続

当社は、株主の皆様への利益還元を最重要と考え、業績の状況、内部留保の充実、配当性向などを総合的に勘案し、継続的かつ企業の成長力に応じた安定的な利益還元を努めることを基本方針としております。第2次中期経営計画より累進的配当政策を導入し、第5次中期経営計画においても継続しております。

※ 1株当たり配当額(DPS)を前年度の1株当たり配当額を下限として、原則として「減配なし、配当維持もしくは増配のみ」とする配当政策





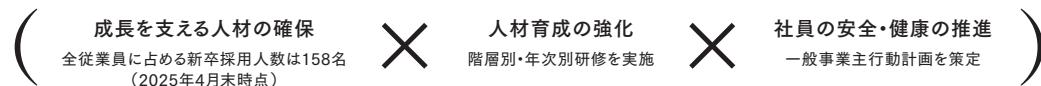
## 企業版ふるさと納税の活用 「北海道事業構想イノベーションラボ」の発足

北広島市、学校法人先端教育機構事業構想大学院大学と当社の3者間で、地方創生の推進に関する産官学連携協定を締結し、新たな事業を構想する人材育成と地域経済活性化を目指す「北海道事業構想イノベーションラボ」を発足いたしました。北広島市を拠点に3期連続で実施する計画の事業構想プロジェクト研究は、事業の根本となるアイデアから発想し、参加者それぞれが北広島地域の課題解決・活性化に資する新たな事業構想計画を構築します。第1期研究会は2025年6月から2026年3月までの約9ヵ月間、全20回実施予定です。当社は2022年より「企業版ふるさと納税」を活用し、継続的に北広島市に寄附を行っております。本プロジェクトにおける研究・講義は本寄附を活用して開催されます。



## 次世代育成支援対策推進法と女性活躍推進法に基づく 一般事業主行動計画の策定

仕事と家庭の両立やキャリア醸成意識浸透に資する機会の創出、男性の平均育休取得日数を14日以上、月平均の法定時間外労働45時間以上の社員数の削減を目標に、新たな行動計画を作成しました。計画期間は2025年4月1日から2027年3月31日の2年間。



## 社員の生産性・働きがいの 向上に向けた取り組み

2024年5月に、当社グループの強み・弱みを客観的かつ定量的に把握する社員向けのエンゲージメントサーベイ(満足度調査)の結果を受け、2024年8月に「目安箱」を設置しました。募集した意見をもとにさまざまな業務改善に取り組んでおります。

## 給与水準の 引き上げ(ベースアップ)の実施

昨今の物価上昇の状況並びに各企業の動向に鑑み、人的資本への投資の一環として2025年5月に平均8.5%のベースアップを実施いたしました。



## Governance ガバナンス

### コンプライアンス部の設置

2022年7月に子会社である株式会社エスコアセットマネジメントに対する金融庁からの行政処分を受けたことから、法令遵守態勢及び内部管理態勢を強化するとともに、利益相反管理態勢を構築すべく、同年10月から社長直下組織として設置しているコンプライアンス室を2025年4月に「コンプライアンス部」に改編。これにより、法令遵守態勢をより強化しコンプライアンス経営の一層の推進をしてまいります。

### 人権デュー・ディリジェンスの実施

当社は、「中部電力グループ人権基本方針」に基づき、継続的に人権デュー・ディリジェンスを実施しており、社外のステークホルダーも含めた当社事業に関連する人権リスクを特定し、評価しています。社内の人権リスクに対する対応策として、全社員を対象とする人権研修やハラスメント防止研修、各種アンケートを実施しています。社外のステークホルダーに対しては、関連性の高いサプライヤーを対象とする人権に関する取り組み状況についてのアンケートを行い、また、当社事業地周辺住民の日照権やプライバシーに関する法令を遵守することで、人権に与える負の影響の発生を防止するための対策を講じています。

# Corporate topics

## 2025年4月、経営企画本部内に「IR室」を新設

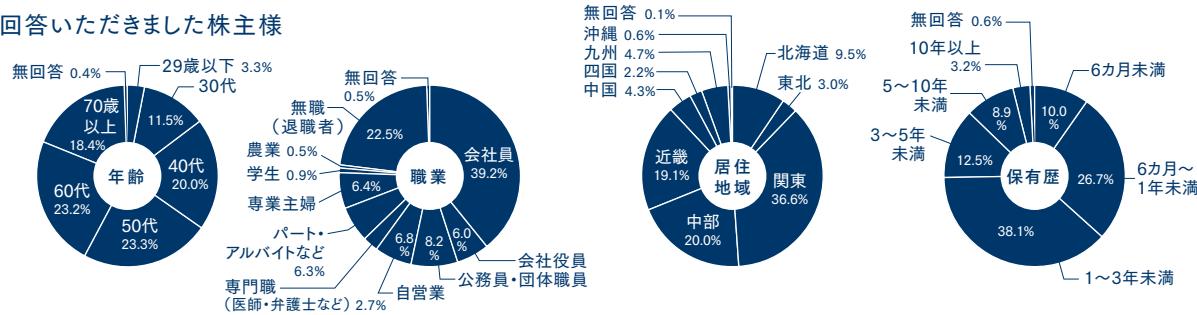
当社はこれまで、株主・投資家の皆様との双方向のコミュニケーションを重視し、当社の経営状況及び運営方針の適時・適切な開示や、皆様からのご意見・ご要望を事業経営へ反映することを通じて、企業価値向上に努めております。この度、企業行動規範の改定、サステナビリティ開示の要請、株主・投資家とのエンゲージメント強化といった上場企業を取り巻く環境変化やニーズの高まりに対応し、企

業価値向上に向けた戦略支援を行う専門組織として、2025年4月に経営企画本部内にIR室を新設いたしました。従来の代表取締役社長による機関投資家向け決算説明会や個別IRミーティングの内容を充実させるとともに、財務・非財務情報の積極的開示に努め、株主・投資家の皆様への能動的なアプローチを活性化し、建設的な対話をより一層促進してまいります。

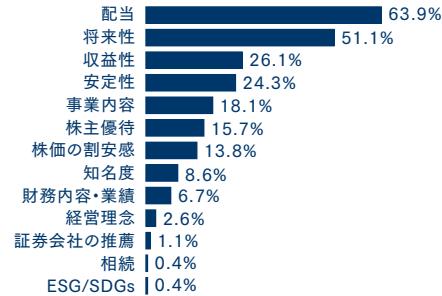
## 株主様アンケート結果のご報告

2024年12月～2025年1月に実施しました株主様へのアンケートについて、ご回答いただき、誠にありがとうございました。その結果の一部をご紹介します。

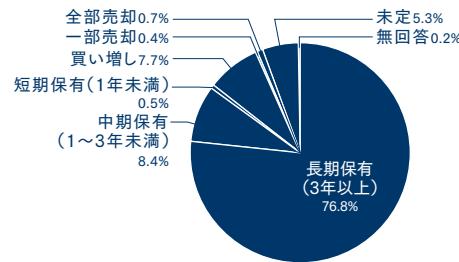
### ご回答いただきました株主様



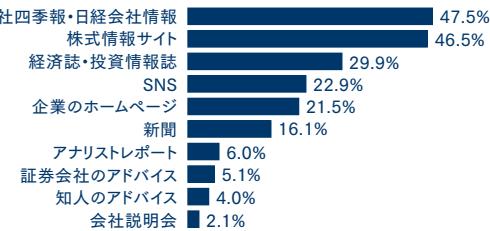
### 当社の株式を購入された理由(複数回答可)



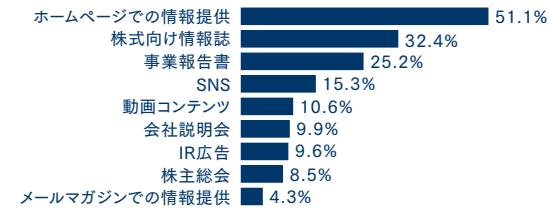
### 今後の当社株式保有方針



### 投資先を検討する際の参考情報源(複数回答可)



### 当社に希望するIR活動(複数回答可)



### ご意見

●エスコフィールド北海道をはじめ、地元を盛り上げ、共に成長していける企業として株式保有を決めました。これからも応援しています。●今後も、住みやすさと環境に配慮したプロジェクトを展開し、地域社会の発展に寄与していただけることを心より期待しております。●エスコのブランド力強化をさらにお願い致します。経営/戦略についてとても共感しております。今後とも御社の発展のため頑張ってください。●エスコフィールド北海道の経営を応援する意味で株主になりました。北海道経済の牽引役として、日本エスコの発展・成長を願っております。

貴重なご意見、多くの声援と期待を頂戴し、ありがとうございました。今後も株主の皆様のご期待にそえるよう努力してまいります。

## 会社概要 (2025年3月31日現在)

### 株式会社日本エスコについて

設立	1995年4月18日
資本金	165億19百万円
売上高	1,136億3百万円(連結/2025年3月期)
従業員数	475名(連結) 309名(単体)

### 株式の状況

発行可能株式総数	99,000,000株
発行済株式総数	98,580,887株
株主総数	32,651名

## 大株主の状況 (2025年3月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
中部電力株式会社	49,599,000	51.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,144,000	6.3
株式会社天満正龍	3,610,000	3.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,897,500	3.0
株式会社正龍コーポレーション	2,100,000	2.2
伊藤 貴俊	1,288,800	1.3
MSIP CLIENT SECURITIES	1,261,200	1.3
明石 啓子	531,000	0.5
礪波 豊	433,000	0.4
株式会社三井住友銀行	300,000	0.3

(注) 1.当社は自己株式を1,462,554株保有していますが、上記大株主からは除外しております。  
2.持株比率は、自己株式(1,462,554株)を除いて算出しており、小数第2位を四捨五入しています。

## 役員一覧 (2025年6月25日現在)



◆印の5名は委任契約型の執行役員、それ以外の執行役員は雇用契約型となります。●印の6名は独立役員となります。